

(2班) 3 染森菜々 さん 玉陵中学校

「安心安全快適な通学路の確保について」

玉陵中学校 3 年、染森菜々です。

私たちは玉名市に安心・安全・快適な通学路の確保をお願いします。

まず、私たちが通う通学路にはコンビニがあるためか周辺には、割りばし、カップラーメンのゴミ、ビニール袋、空のペットボトルなどが落ちています。私たちが拾いますが、まずごみを捨てる行為をなくしたいと思っています。どうすればゴミはなくなるのでしょうか。ゴミを捨てる行為がなくなるよう一緒に取り組んでもらいたいです。

私たちが通う通学路は、道路が凸凹だったり、細かったりするなど危険ではないだろうか・・・と思う道路があります。実際に道が細く、見渡しが悪いところで、何度も事故が起っています。玉名市全体でもそんなところがたくさんあると思います。中学生は自転車通学が多いです。車との接触事故も起きていると思います。私たちの校区だけでなく、全体の通学路の整備をお願いします。

最後に交差点の信号の待ち時間についてです。私達の学校の近く、くまもと県北病院前の交差点では、横断する時間が短く、とても混雑し通学がスムーズにできません。朝の時間帯だけでも横断する時間が長くなるよう調整ができないのでしょうか。

玉名市がきれいになり私たちがいい気持ちで過ごせるために誰もが安心・安全・快適な通学路の確保をお願いします。

●資料(写真)

答弁者：市民生活部長

答弁の前に、染森議員をはじめ玉陵中学校の生徒の皆様に対し、日頃より通学路や学校周辺のごみ拾いをして頂き感謝申し上げます。

また、ホームページを拝見しましたところ、生徒の皆さんは地域住民の方々と連携して、新玉名駅やくまもと県北病院に花を提供され、その花壇の管理や周辺の清掃活動を14年間も継続して実施されていることが高く評価され、今年度、環境大臣表彰を受賞されておられます。これは日頃から、美化清掃活動に高い意識をもって継続的に実施された結果であり、生徒の皆様には敬意を表します。

それでは答弁に移ります。

玉陵中学校 染森 菜々 議員の「安心安全快適な通学路の確保について」のご質問のうち、ごみの問題についてお答えします。

本市では、玉陵中の生徒の皆さんと同様、様々な地域において、自主的な美化清掃のボランティア活動が年内を通して行われており、本市の支援策としまし

では、行政区をはじめ、個人・団体の申請により、ボランティアごみ袋の無料配布、またそれに併せ処理施設に持ち込まれる時も無料としております。

その他、様々な環境問題に関心を持つきっかけづくりの一環として、毎年、市内の小学4年生を対象に、ごみ処理施設での環境学習を通して、ごみの減量化やリサイクルについても学習していただいております。

市としましても、路上などでごみを捨てる行為に対し、広報紙やホームページ等を活用し、より多くの市民の皆様方へ啓発することで、きれいで気持ちよく歩きやすい通学路になるよう、周辺住民の皆様の皆様のご支援を頂きながら、ごみを捨てられない環境づくりに努めると共に、今後も、自主的な美化清掃活動への支援を継続してまいります。

答弁者：教育部長

染森議員、ご質問の「安心安全快適な通学路の確保について」お答えします。

まず、玉名市内の道路には、国道、県道、市道、農道などがあり、その中で玉名市は、市道の管理者であり整備や維持管理を行っております。

この市道は、全体で1528路線あり、総延長は約848キロメートルになります。

市道の整備については、地元からの要望を受け、立会・現地調査を行ったうえで、過去の修繕履歴や交通量、また通学路など地域特有の利用状況や緊急性などを総合的に判断し、整備計画を立て、順に整備を進めております。

また、通常の維持管理につきましては、市の職員による日常の点検に加え、市道全体のパトロールを外部に委託し、道路の穴ぼこなどの不具合箇所を発見しだい、その都度修繕を行っております。

さらに通学路については、「通学路交通安全プログラム」を基に学校から危険箇所の要望を受け、教育委員会、警察、各道路管理者などで毎年実施する「合同点検」で確認し合い、危険箇所の解消に努めているところです。

例えば、見通しの悪い交差点等には、赤や緑といった色で舗装をし危険箇所の周知をしたり、道幅が狭い道路には、外側線（歩行者が通行する道路端の白線）の外側をカラー舗装化することで、歩行者が通るスペースを確保し、通行車両へ色で周知するなど歩行者の安全対策を図っています。

最後に信号の待ち時間については、信号機の管理は熊本県警（公安委員会）が、周辺の道路事情（車両の通行台数や渋滞状況）を調査して設定されていますので、学校からの要望があれば、玉名市経由で熊本県警に申し入れしたいと思っております。

今後も、利用しやすく親しまれる道づくりを目指して、一人でも多くのニーズに応えられるよう、常に見直し、改善を図りながら、安心安全な通学路の確保に努めてまいります。

【資料】

●ゴミが目立つ通学路



●信号待ちの長い交差点

